



第2号
令和2年度
4月23日発行

志高く

自ら考え学び続ける生徒
心豊かで思いやりのある生徒
体を鍛えやり抜く生徒



深谷中学校 42回目、そして令和最初の開校記念日 —臨時休業の中で迎えた開校記念日に深谷中生としての構えを考える—

石川 浩

4月23日、今日は深谷中学校の42回目の開校記念日です。いつもであれば、登校した深中生の皆さんと先生方とで深中の誕生日を祝っているはずでした。当たり前のように行って来たことが、何よりも大切な私たちの生命をコロナウイルスから守るために、できません。しかし、皆で一緒にできないからこそ、一人一人が自分としての感じ方や考え方をしっかりと見つめることができるのではないかと思います。この学校だよりが届くのは数日過ぎてしまっているとは思いますが、届いた日に、今年だからできる開校記念日を迎えた「深中生としての構えづくり」をしてください。



1979年(昭和54年)に旧深谷中学校と旧大寄中学校が統合し、現在の深谷中学校が開校しました。今の校章も校歌も、開校した昭和54年度に制定されたものです。それから42年が経ち、元号で言うと「昭和」から「平成」、そして「令和」と、3つの時代にわたって深谷中学校の歴史と伝統が積み上げられてきました。



42年の間には、制服や体操服、ジャージも髪型もずいぶん変わってきたことが写真で比べてみると分かります。しかし、変わらず受け継がれてきたものや歳月・歴史とともに重ね磨き上げてきたものもあります。それは、**高い志や理想に向けて自ら学び鍛えやり抜く意志であり、友達も自分も大切にしたいという、深中生としての矜持【プライド】**です。

4月8日の始業式・入学式以来、深中生が深谷中学校に登校できない日が続いています。それでも、始業式・入学式を通して一人一人の中に、深中生としての、深中の先輩や最上級生としての自覚が芽生えたことを、皆さんの表情や姿、ちょっとした行動から実感しました。あれから2週間が経ちました。先生から直接言われることはなく、一人一人に自ら考え判断し行動する時間、言葉を換えれば、自分の立派にするための時間の使い方の**自由と責任**を与えられました。自由を好き勝手と勘違いし、自分の未来に対する責任を忘れてしまっていないでしょうか？

深谷中学校の開校記念日を機に、臨時休業が終わり登校できるようになった時のために、**深中生らしい学校生活を送れる“構え”**をつくっておきましょう！ホームページに示しておきましたが、

- ①**学校に通うのと同じ時間に起床する**
 - ②**きちんと朝食を食べ、検温し、深谷中学校の制服に着替えて机に向かう**
 - ③**深中の日課に合わせて、50分間の勉強を午前中4コマ行う**
- という学校が始まれば当たり前のことを、**深中生としての自覚をもって当たり前**にできるようにしておきましょう！

令和2年度のスタート

4月8日、深谷中学校の令和2年度が始まりました。始業式と入学式において、各学年の代表生徒から新年度に向けた素晴らしい決意の言葉が述べられましたので、その一部を紹介します。

令和2年度入学式

新入生誓いの言葉

浜野 真輔

柔らかな暖かな風に舞う桜とともに、ぼくたちは今日、この深谷中学校の門を潜りました。咲き誇る桜の花々は、まるでぼくたちの入学を歓迎しているかのようです。

今日は、このような素晴らしい入学式を行っていただきありがとうございます。今日からぼくたちは中学生です。これから始まる新たな生活に、不安と期待が入り交じっています。僕が不安に思っていることは、勉強と部活動の両立です。小学校より科目が増え、定期テストもあるので、部活動と両立できるかとても不安です。しかし、毎日しっかりと授業を受け、一日一日を悔いのないよう全力で過ごしていきます。楽しみなことは深中の三人行事です。僕は特に文化発表会を楽しみにしていますが、どの行事も違う小学校から集まった新しい友達と協力し頑張りたいです。

今日は、中学校生活の第一歩です。小学校で身に付けた力を活かして、たくさんの仲間と学び合い、助け合い、高め合えるような関係を築いていきたいです。そして3年後には、自分たちの描く理想の大人に近づいているように、毎日を大切に過ごします。時に悩み、時に苦しむと思いますが、そのような時は先生方や先輩方、そして家族を便り、日々精進していきます。これから3年間、ぼくたち149名をよろしくお願ひ言い足します。

これからお世話になる皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、深谷中学校の生徒としての誇りと自覚をもち、有意義な中学校生活を送ることを約束し、誓いの言葉といたします。

歓迎の言葉 [本年度は在校生は参加できなかったので印刷して配られました] 小鮎 あこ

日一日と暖かくなり、春の日差しが心地よく感じられる頃となりました。今日は令和2年度深谷中学校入学式です。今日、新たな一歩を踏み出す新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今、皆さんは様々な想いを抱いていると思います。中学校へ入学するという事に期待もあれば不安もあるでしょう。そんな皆さんに伝えたいことがあります。それは、中学校、大きく成長できる場所だということです。しかしそのためには、小学校で学んだことや経験したことを基礎として活かすことが必要です。中学校は、全てが一新するわけではなく、小学校の延長線上にあるものだからです。

授業の内容も部活動も、小学校で学んだことが基礎となります。しかし、小学校と何も変わろうとしないのでは、中学校生活を有意義なものにはできません。ただ先生のお話を聴いているのではなく、自分の考えを持って取り組み深めていくことがより大切になります。毎日少しずつ成長しよう、より善くするために何か工夫してみようとするのが大切なのです。私たち先輩にも、同じことが言えます。昨日より今日、今日より明日と、全校生徒が日々成長しようと思うことで、深谷中学校はより素敵な学校になっていきます。

私たちは、みなさんが深中生の仲間に加わってくれることを楽しみに待っていました。これから私たちと一緒に、一人一人の、そして深谷中学校をより善いものに成長させ、開花させていきましょう。

令和2年度 第1学期始業式 新学年への抱負 [今回は全体で集まったの始業式はできず放送で行いました]

2年生代表

高田 茉歩

暖かい風が心地よい穏やかな季節となりました。入学してからあっという間に1年が過ぎ、私も2年生になったのだという自覚をもちました。

1学年では「新しい自分に挑戦し、みんなで成長できる1年間を過ごそう」をテーマに、何事にも全力で取り組んできました。初めてのことがたくさんあった1年間でしたが、クラスや学年で協力し合い、様々な困難を乗り越えてきました。全てが順調に進んでいた中、新型コロナウイルスの影響で、1学年のまとめをする機会がなくなってしまったことは本当に悔しかったです。しかし、普通の生活がどれだけ大切なのかを改めて学ぶことができました。

2年生になりました。1年生のお手本にふさわしい行動ができるよう、私は誰かに言われて動くのではなく何をすべきか自分で考えて動くことを意識し、勉強と部活の両立を目指します。私が入学当初先輩の姿を見て学校生活を送ってきたように、今度は私が先輩として責任ある発言や行動ができるよう励みます。

世界中が新型コロナウイルスに立ち向かわなければならない辛い時を迎えています。いつさらなる緊急事態になるか分かりません。だからこそこれまで以上に一日一日を大切に、目標をもって生活していきたいです。そして、2年生として新たなスタートを切り、充実した学校生活を送ってきたいです。

3年生代表

吉岡 茉咲

私たち青学年は、今日から最高学年である3年生となりました。最上級生としての行動がとれるように、私は三つのことを考えました。

一つめは、「学校の顔になる」ということです。今までは先輩ではあっても一つ上の先輩がいて、その先輩を手本にしていました。しかし、もう上級生はいません。私たち青学年全員が深中の最上級生としての自覚をもち、全校の手本となる姿を示さなければならないのです。

二つめは、部活動や三人行事など、様々な「中学校生活最後を迎える」ということです。最後だということ意識し、悔いのないよう、今まで以上に仲間と協力し、最善を尽くしていきたいと思っています。

三つめは、「受験生になる」ということです。これは今までに経験したことのないことです。初めて自分の進路や将来を自分の意志で決めるのです。だからこそ、今までどおりではなく、より意識を高くして臨まなければなりません。

青学年は、今日から最高学年・最上級生として、一人一人が意欲的に取り組んでいきたいと思っています。新型コロナウイルスの影響で、私たちの大切な2年生としてのまとめの学校生活が奪われてしまいましたが、仕切り直して最高学年としての1学期を善いスタートを切りたいです。